

さいたま市立大谷場中学校 各教科の内容と評価観点 [社 会]

教科の目標	○社会に対する関心が高く、多面的・多角的に考察することができる。 ○民主主義に対する理解を深め、国民主権を担う公民としての基礎的教養を身に付ける。
-------	--

1 年	項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	観点	社会的事象についての知識・技能	社会的な思考・判断・表現	社会的事象へ学びに向かう力
	評価の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解できる。 ・資料を活用して学習課題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を把握して自分の考えや意見をまとめ、表現することができる。 ・多様な意見や考えを認め合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業に参加している。 (工夫した発表、内容のある発言や質問) ・作業的な学習や調べ学習など課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに意欲的に取り組むことができる。 ・時事的な問題に関心を持っている。

	単元・教材・題材 等	学習目標・学習内容・学習活動 等	評価の方法
1 学 期	<地理的分野> 1 世界と日本の姿 2 世界各地の人々の生活と環境 <歴史的分野> 1 歴史へのとびら 2 古代までの日本	<ul style="list-style-type: none"> ○地球儀や世界地図を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分など、世界の地域構成を大観する。 ○地球儀や地図を活用し、我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを取り上げ、日本の地域構成を大観させる。 ○世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。 ○我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりするなどの活動を通して、時代の区分やその移り変わりに気付き、歴史を学ぶ意欲を高めるとともに、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業観察 (発表、発言、質問の内容) ○ノートの作り方の工夫 ○問題集、宿題への取り組み方、工夫 ○自主的な課題追究 ○定期テスト ○国名検定テスト ○小テスト

2 学 期	<p><歴史的分野> 2 古代までの日本</p> <p><地理的分野> 3 世界の諸地域</p>	<p>○律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを通して、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族の政治が展開したことを理解する。</p> <p>○仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを通して、国際的な要素をもった文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを理解する。</p> <p>○世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握し、主題を追究することを通して、それぞれの州の地域的特色を理解する。</p>	<p>○授業観察 (発表、発言、質問の内容)</p> <p>○ノートの作り方の工夫</p> <p>○問題集、宿題への取り組み方、工夫</p> <p>○自主的な課題追究</p> <p>○定期テスト</p> <p>○都道府県名テスト</p> <p>○小テスト</p>
3 学 期	<p><地理的分野> 3 世界の諸地域</p> <p><歴史的分野> 3 中世の日本</p> <p><地理的分野> 3 日本のさまざまな地域</p>	<p>○世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握し、主題を追究することを通して、それぞれの州の地域的特色を理解する。</p> <p>○鎌倉幕府の成立、南北朝の争乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動などを通して、武家政治の特色を考え、武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まるとともに、東アジア世界との密接なかかわりがみられたことを理解する。</p> <p>○自分たちが住む身近な地域の特徴や課題について、地図や写真、統計などを活用して調べ、表現する。</p>	<p>○授業観察 (発表、発言、質問の内容)</p> <p>○ノートの作り方の工夫</p> <p>○問題集、宿題への取り組み方、工夫</p> <p>○自主的な課題追究</p> <p>○定期テスト</p> <p>○小テスト</p>